

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 筑西市立中小学校

担当教諭名 皆川ひろ子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成23年 1月 28日(金) 9:00 ~ 12:00
対象学年と人数	6学年 51名
派遣講師名と出身国	オレリーノエル(フランス) ソル ユンギョン(韓国) 幸田泰子(各国事情紹介講師)
活動の内容	全体会を開き、3名の講師の方に自己紹介をしていただきました。次に児童を3つのグループに分け、1回目～3回目とローテーションしながら、全ての児童がどの活動もできるように交流会を行った。1回の交流時間は、35分とし、主に、講師の方が用意してくださった画像中心のプレゼンを見ながら話を聞いたり、クイズに答えたりしました。韓国のソル ユンギョンさんからは、民族衣装を着せていただきました。活動後、終わりの全体会を開き、お礼の言葉を述べた。給食の時間には、講師の先生方を教室に招待し、いっしょに会食しながら楽しい時間を過ごしました。
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 外国の方を招いての国際交流はなかなか難しい学校の現状ですが、貴協会のおかげで、このような機会を与えていただいたことは国際教育を推進する意味で、とても大変ありがたいことです。
生徒・保護者等参加者の感想	タンザニアの話では、学校に行きたくても行けない子がたくさんいるという事を知り、かわいそうだと思います。そして、日本は幸せだなあと思いました。フランスの話では、エッフェル塔やピラ砂丘、凱旋門などの写真を見せてもらい、フランスに行ってみてみたいなあと思いました。韓国の話では、いろいろな韓国語を教えてくださいました。また、民族衣装の『ハンボク』を着せていただき、とてもいい体験ができました。3カ国の話を聞いて、どの国にも興味をもちました。外国の先生が自分の国のことを教えてくださいましたように、私ももっと日本をくわしく知ろうと思いました。
先生の感想	日本人講師を含む3名の講師の方から、それぞれの国を紹介する写真や画像等を用意していただいたり、自国の民族衣装を持ってきてくださったりして、とてもいいねいに分かりやすく教えてくださいました。子ども達は、これらの国については本やインターネットで調べてはいたものの、表面的な知識に過ぎませんでした。今回、直接外国の方からお話を聞き、改めて外国の生活や文化に興味をもつことができました。また、3人の講師の方のお話は子ども達に興味関心を植え付ける説得力のある内容で、学ぶところが多く、子ども達の生きた学習として大きな成果があったと思われまます。 しかし、今回は、実施回数の関係で、ファシリテーターの方を付けていただけなかったことから、3人の講師の方との連絡調整がとても大変でした。ほとんどメールでの連絡で当日を迎えることになりましたが、交通機関や電車の時刻の案内等に至るまで負担が多すぎました。 前回はプレゼンの他にたくさんの衣装や珍しい品々の実物を持ってきて下さり、子どもたちはそれらを身に付けたり、国の遊びや踊りを教えていただきながら遊んだりするという多くの体験と交流活動を行うことができました。 今回は私の要望を上手くお伝えすることができなかったこともあり、韓国の衣装を代表児童が着せていただく場面はあったものの、ほとんど話を聞くだけの受け身的な体験になってしまい、交流の形をとれなかったのが悔やまれます。やはり、調整役をしてくださる方がいるといかないのでは違うのではないかと思います。是非検討していただけたら幸いです。 短い時間でしたが、普段できない貴重な体験をすることができ、有意義な時間となりました。ありがとうございました。